

# 生活単元学習指導案

指導者

1 日時 平成25年7月5日(金) 第1校時

2 学級

3 単元名 「働く体験をしよう」

4 単元について

生徒たちは、前単元「作って売ろう」の学習を通して、外山農場での勤労体験学習の後、好きなアイスやジュースを買って楽しみ、働いた達成感や働くことのよさを実感することができた。また、昨年度の職場体験学習を振り返り、一生懸命働く体験ができた達成感から、今年も、職場体験に行きたいという思いをもった。生徒たちのこの思いから、生活単元学習として、「働く体験をしよう」に取り組むこととした。

本単元は、職場体験に行つてがんばろうという目的をもち、職場体験先を決定するにあたり、自分なりの理由をもち、自分の意思で選択する、そして、責任をもって行動する力を育てるための学習として設定した。自分で職場を選び、実際にそこで働いてみることを通して、生徒たちは達成感を味わったり次への意欲をもったりすることができると考えた。また、実際の職場では、製品としての精度が高まるよう、それぞれが責任をもって作業しなければならない。その責任を伴う厳しさの経験も含めて、職業や生活の基礎を身に付けることができると考えた。

本学級は、1年1名、2年7名、3年3名の計11名である。生徒たちは、異なる背景からさまざまな特性をもっている。作業に関しては、作業内容を明確にすることにより精一杯取り組むことができる生徒や手順を踏みながらじっくりと取り組むことができる生徒、動作の介助によりひたむきに取り組むことができる生徒などがいる。また、表現に関しては、場を設定することにより思いを伝えることができる生徒や教師とのかかわりを通して話すことができる生徒などがいる。選択に関しては、おもしろそう、楽しそうという興味・関心のもと選択する生徒ややったことがあったり上手にできたという経験による自信のもと選択する生徒、できるようになりたい、職人みたいなど憧れのもと選択する生徒など、さまざまである。

本単元を指導するにあたっては、職業や生活にかかわる基礎となる経験を重ねることができるよう育てたい力を明確にし、特に、自己選択や振り返りの学習活動を大切にしながら主体的に活動できるようにしていきたい。体験に行きたい職場を自己選択する視点として、前述の興味・関心、経験による自信、憧れに加えて、自分にはできそうという推量による自信、やったことがないが一歩踏み出してみようという挑戦、君ならできるという他者評価、その作業の必要性が分かり、役に立つからというやりがいも考えられる。選択にはさまざまな視点があることを学び、自己の個性や興味・関心に基づいたよりよい選択ができたという経験をしてほしいと考える。さらに、精一杯活動することができるように、場の設定、視覚的な情報提示など、個に配慮した状況づくりや、職場という場面に応じた話し方や行動ができるように、実際の場面で具体的に示すことも大切にしていきたい。

5 指導と評価の計画・・・次頁

6 本時の達成目標

情報や作業体験をもとに選択の視点がいろいろあることを知り、根拠をもって自分が体験する職場を選んでいる。

<個人の目標> ※ 太枠が本時

	【説明する】【理解の確認】	【理解深化】【自己評価活動】
生徒	② 必要に応じて情報を収集したり整理したりして、自分の活動(選択)に生かす力	③ これまでの経験をもとに、よりよい選択(決定)をする力
D・I	職場や作業内容の写真、それに対する質問から職場の特徴を知り、選択の参考になっている。 <ーの場合> 教師が問いかけたり促したりすることにより、職場の特徴の理解が十分かどうか確認する活動に取り組む。	情報や作業体験を通して、やりがいを根拠として自分が体験に行きたい職場を選んでいる。 <ーの場合> 体験した作業によってできる製品が何に使われるのか確認することに取り組む。
B・C		情報や作業体験を通して、興味・自信以外を根拠として自分が体験に行きたい職場を選んでいる。 <ーの場合> 友達や教師による他者評価を参考に、新たな経験を試してみるよさに気づくことができるようにする。
F・K	職場や作業内容の写真から職場の特徴の違いが分かり、選択の参考になっている。 <ーの場合> 教師と共に、板書をもとに主な作業内容を確認する活動に取り組む。	情報や作業体験を通して、自信を根拠として自分が体験に行きたい職場を選んでいる。 <ーの場合> 友達や教師による他者評価を参考に、自分のよさを生かして選択するよさに気づくことができるようにする。
J		
H		
A・E	職場や作業内容の写真から職場の違いが分かり、教師の問いかけに反応している。 <ーの場合> 教師と共に、職場名と主な作業内容の写真を一致させながら、職場の違いを確認する活動に取り組む。	情報や作業体験を通して、興味以外を根拠として自分が体験に行きたい職場を選んでいる。 <ーの場合> 教師と共に、自信の視点からどちらの作業が正しく丁寧にできたか、振り返る。

## 7 本時の指導の構想

### (1) 「教えて考えさせる授業」にかかわって

じっくり理解し、理解を深めるための体験を十分にできるように、前時で【説明する】【理解の確認】段階を学習し、本時で【理解深化】【自己評価活動】段階を学習する2時間扱いで4つの段階の学習活動とした。本時は、育てたい力のうち、「③これまでの経験をもとに、よりよい選択（決定）をする力」を重点としてねらったものである。

前時では、「②必要に応じて情報を収集したり整理したりして、自分の活動（選択）に生かす力」を育てることを重点とした。まず、体験に行くことができる職場を説明し、自分に合った職場体験先を見つけることへの意欲付けをした。【理解の確認】では、どのようにして自分に合った職場体験先を見つけるのか、そのためには「～だから〇〇に体験に行きたい」と根拠をもつことや、仕事だから正しく丁寧にすることが大切であることを確認した。また、それぞれの職場体験先の作業内容や特徴が理解できているか確認をした。

【理解深化】・・・理解を深める方法として、体験を大切にしたいと考えた。そして、より根拠のある選択にするために、実際に行われている作業の中からそれぞれの職場の特徴的な作業を2つ体験できるようにする。

まず、前時までの情報を手がかりに選択した一つめの職場の作業を体験してみる。この体験①の選択理由は、多くは「おもしろそう、楽しそうだからやってみてみたいという興味・関心」で、「自分は上手にできそうという推量による自信」や「上手になりたいという憧れ」、「新しい作業にチャレンジしたいという挑戦」があった。体験してみることやその振り返りを発表し合うことにより、自分に合った職場を見つけるために、興味・関心、推量による自信、憧れ、挑戦の視点もあることや、その他にも経験による自信、他者評価、やりがいなどの視点もあることに気付くことができるようにしたい。そして、体験②では、一つめとは違う職場の作業を選択して体験することとする。2つの職場の作業体験と振り返りを通して、選択の視点を広げ、より自分に合った職場として根拠をもってよりよい選択ができるようになってほしいと考える。

本時の「よりよい選択」とは、選択理由の追加、深化、補強がされることと捉え、理解深化を図る。

【自己評価活動】・・・本時の活動を振り返り、「～だから」と根拠をもって自分に合った職場を選ぶことができたことを価値づけ、認め合うことができるようにする。

### (2) 「表現すること」にかかわって

本時で大切にしたい「表現する」活動は、以下の3点である。

- ・ 体験に選んだ職場とその理由を伝え合う活動  
選んだ職場とその理由について伝え合う活動では、あらためて自分の意思を明確にさせたい。体験活動の時間を確保することを重視し、表し方は黒板に自分の名前カードで示すこととする。
- ・ 体験の振り返りを伝え合う活動  
この活動では、活動の様子を発表し合ったり友達の選択の理由を参考にしたりして、違う視点もあることに気付くことができるようにしたい。
- ・ 活動の振り返りを発表し合い、認め合う活動  
この活動では、根拠をもって自分が体験する職場を選んだということを発表し、認め合えるようにしたい。

これらを通して、自分の意思を伝える大切さや伝え合う楽しさを感じ取ることができるようにしたい。



			にする。			
		4 体験② (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験①と違う職場の作業を体験することにより、比較、修正、強化し、より自分に合った職場を考えることができるようにする。</li> <li>・体験生徒がいない担当教師は、他の職場の作業体験コーナーでの支援に入り、作業体験が十分にできるようにする。</li> </ul>	<p>③これまでの経験をもとに、よりよい選択（決定）をする力</p> <p>&lt;記述内容・発表内容&gt;</p> <p>A・E・H 情報や作業体験を通して、興味・関心以外も根拠として自分が体験に行きたい職場を選んでいる。  (一：教師と共に、自信の視点からどちらの作業が正しく、丁寧にできたか、振り返る。)</p> <p>J 情報や作業体験を通して、経験による自信も根拠として自分が体験に行きたい職場を選んでいる。  (一：友達や教師による他者評価を参考に、自分のよさに気づくことができるようにする。)</p> <p>B・C・F・G・K 情報や作業体験を通して、興味・関心や経験による自信以外も根拠として自分が体験に行きたい職場を選んでいる。  (一：友達や教師による他者評価を参考に、新たな経験を試みるよさに気づくことができるようにする。)</p> <p>D・I 情報や作業体験を通して、やりがいも根拠として自分が体験に行きたい職場を選んでいる。  (一：体験した作業によってできる製品が何に使われるのか確認することに取り組む。)</p>	各職場の作業体験コーナー	
		5 体験②を振り返る。(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験①同様に、コーナー毎に仕事として正しく丁寧にできたか振り返りをするることにより、経験による自信をもつことができるようにする。振り返りの際、他者評価も取り入れ、一緒に体験した友達の中で上手に作業していると思った友達も発表し合うようにする。</li> </ul>		学習シート	
32	32	6 職場を決め、本時を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回の体験を通して、より自分に合った職場を選ぶことができるようにする。</li> <li>・作業体験を通して選んだ職場と理由を発表し合うことにより、本時の活動を振り返ることができるようにする。また、はじめの理由と比較し、それぞれの選択の根拠の変容を価値づけることができるようにする。 【評価③】</li> </ul>		学習シート 理由選択カード	
終末	自己評価活動			<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもしろそうだったから。正しく丁寧にできたから。</li> <li>・〇〇もおもしろかったけど、△△がプロみたいだったから選びました。</li> <li>・初めてやったけど、やってみたら友達に上手だと言われたから、〇〇を選びました。</li> <li>・〇〇をすると、お店で買う人が喜ぶだろうと思ったから選びました。</li> </ul>		
13	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者評価を根拠に一步踏み出すことが望ましい生徒については、この時点で選択を替えてもよいこととする。</li> </ul>			